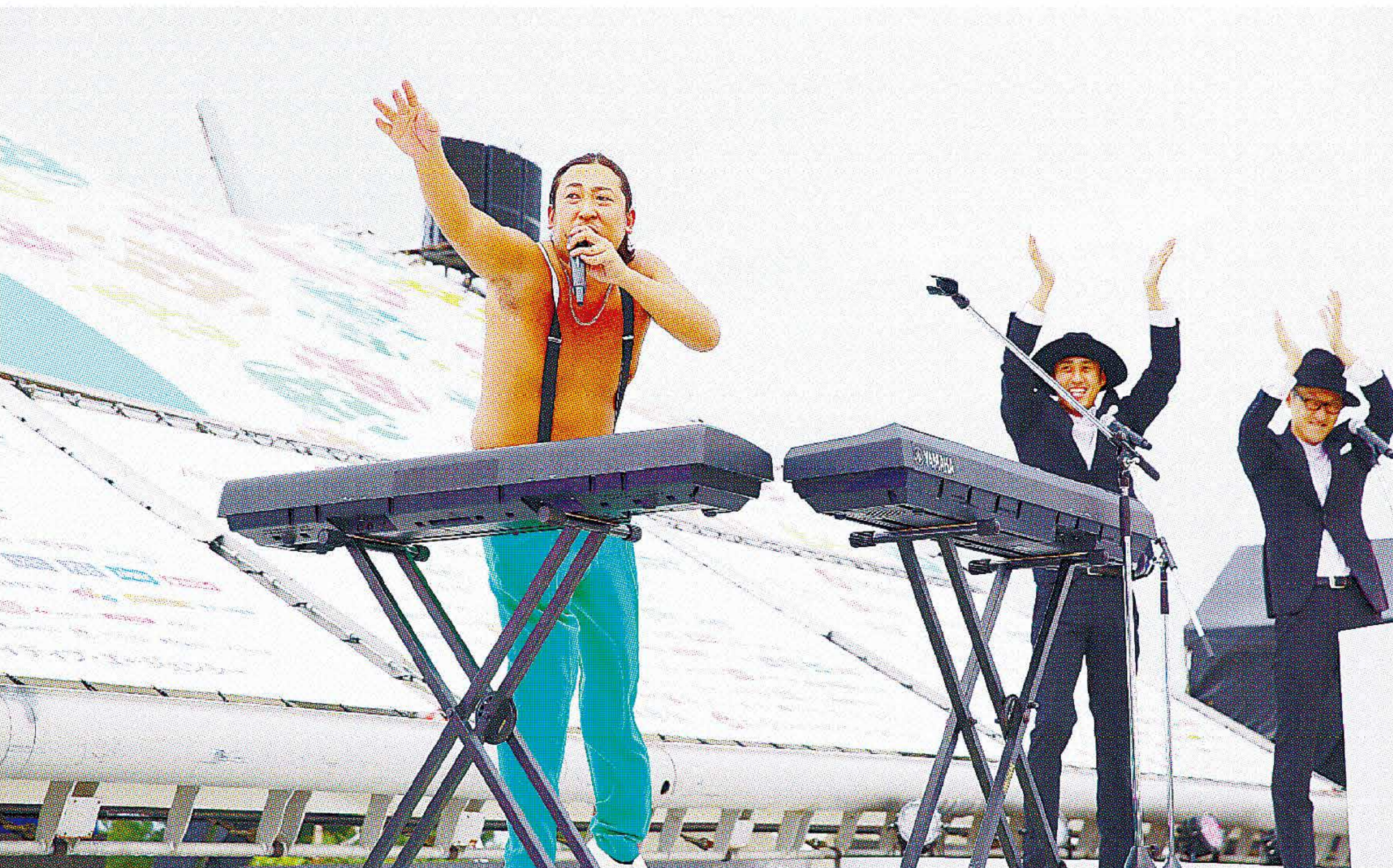


パフォーマン스에 沸く



コントに歌、ダンスも

メイン会場となる那覇市の波の上うみそら公園では22日、午前中から夕方まで多彩なステージが催され、地元大学生や愛好家グループから今注目のお笑い芸人まで出演。コント、歌や踊りのパフォーマンスで会場を沸かせた。

波の上うみそら公園

12時30分からは「波の上うみそらステージ」があり、沖縄在住のジャズタツパンダンスMさんや、ポールダンサーのSHOWKOSAKUさんが熟練の技を披露したほか、コロコロチキチキペッパーズが卓球コントを演じ、レイザーラモンRGが森山直太朗の曲にのせた「沖縄あるある」を歌った。歴史上の事件をアツペンポの歌と踊りで表現し一躍人気者となったエグスプロージョンは、「本能寺の変」

アリーディングチームSHOCKERSが、息の合ったアクロバティックな動きでいきなり会場を魅了した。続いて、琉球大学や沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学の学生ら6つのグループと個人が出演。ヒップホップダンス、アカペラとボイスパーカッションの演奏、エイサーの



「TOKAKUKA」を熱唱するロバート・秋山竜次(上写真)と、時おり晴れ間ものぞいた波の上うみそら公園特設ステージ(下写真) 22日、那覇市の波の上うみそら公園

産業まつりとコラボ

浦添市てだこ広場、あすまで

浦添市の名産品などを集めた「うらそえ産業まつり」と、「島ぜんぶでおーきな祭」がコラボするイベント「うらそえ産業まつり with 島ぜんぶでおーきな祭」が22日から24日まで、浦添市のてだこ広場で開催される。22日のオープニングセレモニーでは、松本哲治・浦添市長が「今回、このような形で映画祭とコラボでき

るのを感謝していただきます。こういうお祭りができる場がある幸せをしっかりとかみしめながら、すばらしい三日間にしていきたいと思えます」とコメント。その後、浦添市出身で本映画祭PR大使の宮川たま子と、橋本顕彰実行委員長によつて開会宣言が行われた。同



「うらそえ産業まつり with 島ぜんぶでおーきな祭」オープニングセレモニーであいさつする松本哲治・浦添市長(中央) 22日、浦添市のてだこ広場

よしもとID
詳しくは公式ホームページにて <http://oimf.jp>

よしもと沖縄花月、桜坂劇場、ラフビータウンにて
ご来場ポイントプレゼント中!
よしもとIDログイン★キーワードを入れてポイントゲット!
ポイントを集めて劇場チケットやグッズと交換しよう!
ID登録無料です!
チケット先行予約 特典情報 などいっぱい!
詳しくは [よしもとID](https://id.yoshimoto.co.jp/) 検索 [登録しとこ!](https://id.yoshimoto.co.jp/)

「芸人って、よろしいで!」 きよし師匠、若手にエール



『フレハワラフレイ』の舞台あいさつに登場した(左から)板尾創路、西川きよし、木村祐一ら 22日、那覇市のよしもと沖縄花月

「フレハワラフレイ」上映 木村祐一がお笑い芸人に取材したドキュメンタリー映画「フレハワラフレイ」が22日、よしもと沖縄花月で上映された。西川きよし、板尾創路、品川ヒロシ、しずる、そして木村祐一が

沖縄発 4 作品上映

ゴリ監督作など観客魅了

桜坂劇場

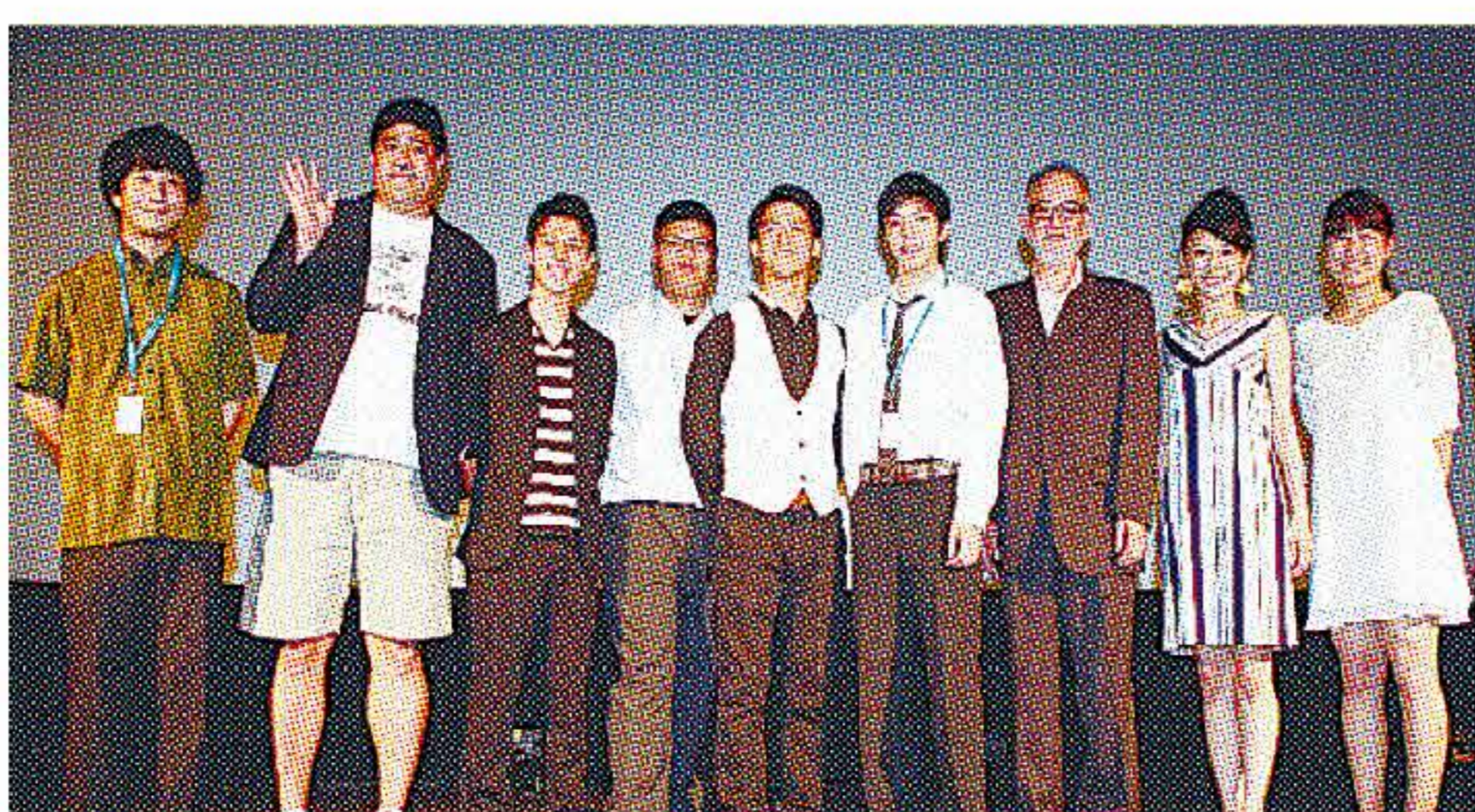
「自分たちが住む街の素晴らしさを多くのの人々に伝えたい！」という趣旨から始まった地域発信型プロジェクトの一部門として、それぞれの地域の特色を盛り込みながら製作された全国10地域と沖縄4地域の「地域発信型映画」が22日、桜坂劇場にて上映された。

沖縄発の映画は『born、bone、墓音』(ぼおん ぼおん ぼおん) (粟国村/ゴリ監督)、『港川人の友達』(八重瀬町/名嘉真崇介監督)、『わたしの宝も』(伊江村/知念だしんいちろう監督)の4作品。上映前の舞台挨拶で登場

した『born、bone、墓音』のゴリ監督は次のように語った。

「最初は粟国島の塩をテーマにした脚本を書いていたのですが、プロデューサーから粟国島の一部では今も風葬と洗骨の伝統が残っていると聞かされて衝撃を受け、すぐにテーマを洗骨に改め、脚本を一から書き直しました。ただし、洗骨といつても重くシリアスな映画にするのではなく、大いに笑っていただきたいながら、先祖に対する尊敬の念や愛情の深さなどに感動できる、そんなハートフルコメディをめざしました」。本作で主人公の母親役を演じた古謝美佐子も、実際に洗骨の体験があるとのことである。

それぞれ沖縄の魅力を伝える4作品の上映に場内は大いに沸いた。舞台挨拶で登場した監督とキャストの面々。上から『born、bone、墓音』(ぼおん ぼおん ぼおん)、『港川人の友達』、『わたしの宝も』、『伊江島取材特報』消えたタッチューとチカラタンナーパ』22日、那覇市の桜坂劇場



多くの来場者が訪れたラフピータウンのステージ。波の上のみそら公園



体験型展示会 楽しい! 波の上にラフピータウン

「参加できる・体験できる!」をコンセプトにした展示会「ラフピータウン」が波の上のみそら公園にオープンしている。会場内にはステージやブース、フードコートなどを設置。ステージでは芸人やアイドルたちが登場するイベントが開催され、映画祭を盛り上げる。ブースではさまざまな商品やサービスを体験できる。また、会場内では学研とコラボした参加型のクイズラリーも実施。楽しみながら各ブースをめぐる事ができる。

国内外の名作 コメディ上映

きょうまで

国内外のコメディ映画の中から不朽の名作を紹介する「日本のコメディ・世界のコメディ」が22日から23日にかけて開催される。22日の一作品目として、よしもと沖縄花月にてウッディ・アレックス主演の『ボギー!俺も男だ』(73年)が上映され、作品を選定した高平哲郎氏となだぎ武のトークシ



ョーも催されたII写真。

「ウッディ・アレックスの映画は難解なものもあるが、これは入門編として最適」(高平)。「お笑い芸人はウッディ・アレックスのファンが多いんですよ」(なだぎ)。23日には桜坂劇場ホールCにて、川島雄三監督の『喜劇どんかつ一代』(63年)と、その愛弟子の今村昌平監督による『「エロ事師たち」より人類学入門』(66年)が上映される。

海外の

記者から

台湾

林曉娟さん(雑誌『壹週刊』)沖縄国際映画祭の雰囲気はレッドカーペットを見ればわかります。面倒な手続きはなくお祭りのようににぎやかで自由。映画上

人情味あふれる映画祭

映だけでなくさまざまなイベントがあり、来場したお客さんと交流できます。よしもと所属のお笑い芸人は積極的に映画撮影に参加し、作品を通じて観客を笑わせることで、監督や演技などお笑い以外の才能も発揮していますね。他の国際映画祭に比べ、人と人との温もりがあり、笑顔が絶えない人情味あふれる映画祭だと思います。

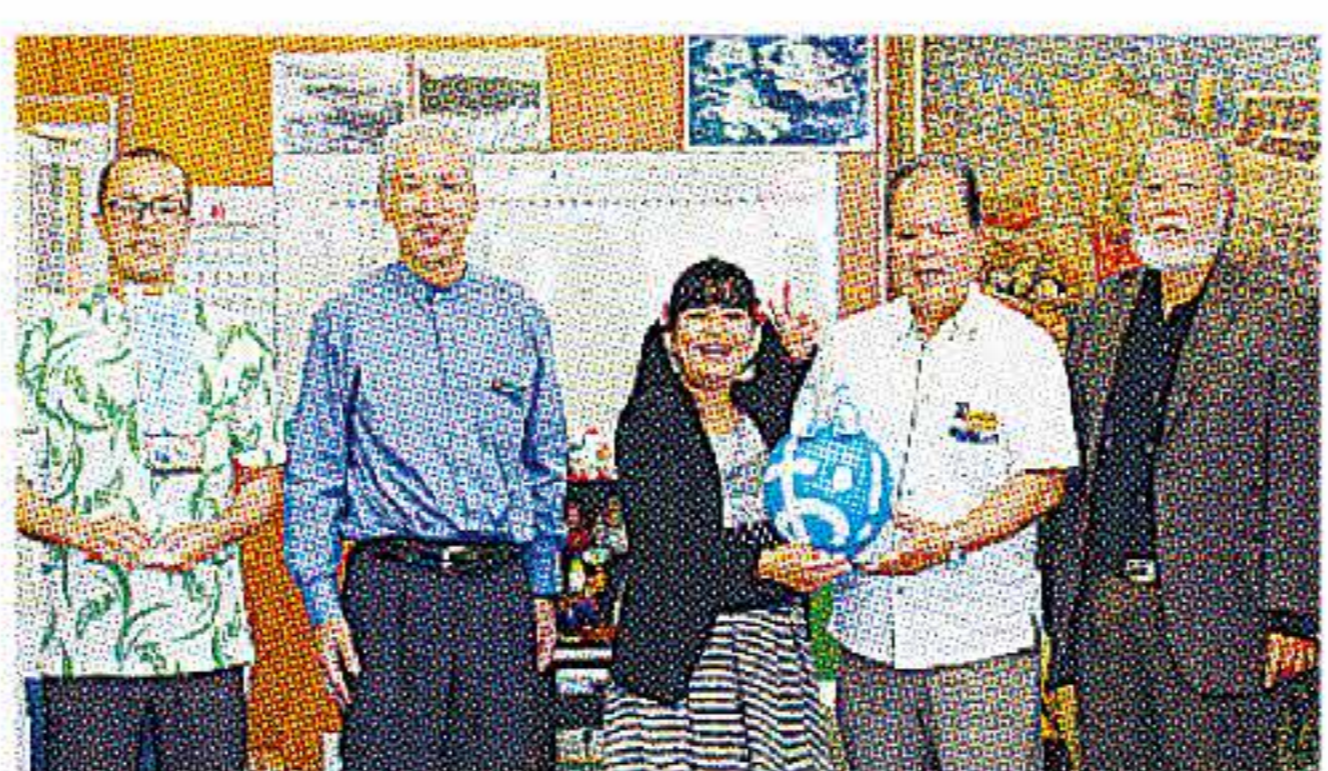
応援団紹介



やえせ応援団 中高生のボランティア団体で構成しています。今回は地域発信型映画「港川人の友達」にも積極的に参加しました。地域からおきな祭を盛り上げていきます。



はえばる応援団「JIMOT CM COMPETITION」の制作に取り組みました。はえばる応援団の繋がりが強く持てた取り組みで、今後も積極的に参加していきます。



おおぎみ応援団 おおぎみ産業まつりでの地域映画上映会、パネル展を通し村民におきな祭をPRしました。今回のおきな祭も大成功になるよう、応援いたします。



くのがみ応援団 本島最北端の応援団です。今回は積極的に地域映画の上映会や、地元CM制作などに取り組んできました。やんばるからおきな祭盛り上げていきます。



あぐに応援団 粟国村ではゴリさん監督の地域映画「born、bone、墓音。」が撮影され、応援団もサポート。ゴリさんの過去の作品の上映会も行いました。今後も応援していきます。



とみぐすく応援団 豊見城市ではドライブインシアターを開催、瀬長島ウミカジテラスではイベントもあります。積極的に参画し多くの方に市の魅力を知ってもらいたいです。



とかしき応援団 離島でも「島ぜんぶでおきな祭」を盛り上げたい! その気持ちで渡嘉敷村が一致団結して結成しました。次につながるよう積極的に参加していきます。



かでのな応援団 嘉手納商工会青年部を中心に活動しています。「JIMOT CM COMPETITION」の制作等、積極的に参加しました。本番でも盛り上げていきます。



うるま応援団 応援団の取り組みとして「うるま市産業まつり」で地域映画上映会を開催し、大変好評でした。今後も積極的に取り組み、おきな祭を盛り上げていきます。



きたなかぐすく応援団「イオンモール沖縄ライカム」でイベントが開催。初の地元イベントに期待を膨らませ、チラシ配布等に取り組みました。北中城から盛り上げていきます。